

No.15 ヒトの肝臓と腎臓の働きに関する次のア～オの記述のうち、腎臓の働きに関する記述のみを全て選んだ組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。

- ア アルコールなどの有害なものを無害なものに変える。
- イ 血液中の塩分濃度を調節する。
- ウ グルコースをグリコーゲンとして貯える。
- エ アンモニアを尿素に変える。
- オ 血液から尿素を含む老廃物を排出する。

- 1. ア、イ
- 2. イ、エ、オ
- 3. ア、ウ、エ
- 4. ウ、エ
- 5. イ、オ

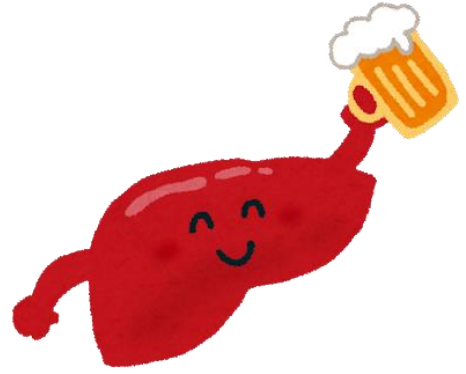
【肝 臓】

《特徴》

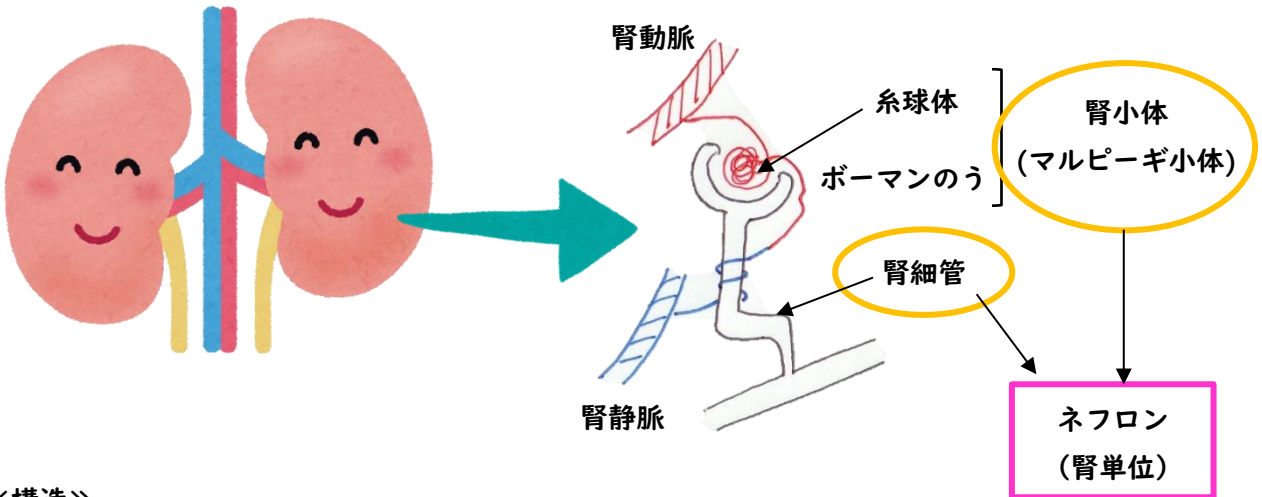
人間の体内で**最大**の器官！

《はたらき》

- ①栄養分の貯蔵・分解（グリコーゲン⇔グルコース）
- ②胆汁の生成（脂肪を乳化する）
- ③解毒作用
- ④尿素の合成（有毒なアンモニアから毒性の低い尿素を合成）
- ⑤血液の貯蔵
- ⑥赤血球の破壊
- ⑦体温発生



【腎 臓】



《構造》

- ・左右1対ある
- ・腎臓1つにネフロンが100万個ある

《はたらき》

- ・尿の生成（血液のろ過→有用物質の再吸収→ぼうこうへ）

No.16 江戸時代の政策に関する記述として最も妥当なものはどれか。

1. 徳川綱吉は、足高の制を採用して柳沢吉保や新井白石などの有能な人材を広く登用し、彼らの助言に従って、生類憐みの令を廃止した。
2. 徳川吉宗は、享保の改革を行い、飢饉に苦しむ農民に米を支給する上げ米を実施するとともに、参勤交代を廃止して諸大名の負担の軽減を図った。
3. 田沼意次は、上知令を出し、庶民に厳しい儉約を命じた。また、幕府財政の再建のために、印旛沼の干拓を中止し、支出の削減に努めた。
4. 松平定信は、寛政の改革を行い、旧里帰農令を出して江戸に流入した没落農民の帰村や帰農を奨励した。また、寛政異学の禁を発し、朱子学を正学とした。
5. 水野忠邦は、天保の改革を行い、株仲間を結成させ、商品の流通を促進して商業を活性化させた。また、棄捐令を出して札差の救済を図った。

【江戸の三大改革とその周辺】

《 5代将軍 徳川綱吉 》

- ・ 文治政治の最盛期
- ・ 朱子学を大切にした
- ・ 生類憐みの令



犬公方(笑)

《 三大改革 》

	享保の改革	寛政の改革	天保の改革
将軍	徳川吉宗	徳川家斉 <small>いえなり</small>	徳川家慶 <small>いえよし</small>
老中	—	松平定信	水野忠邦
キーワード	上げ米 目安箱 小石川養生所	帰農令(奨励) 困い米 人足寄場 朱子学以外の禁止	人返し令(強制) 上知令
株仲間	○	○	× (解散)

《 老中 田沼意次 (田沼政治) 》

- ・ 重商主義的政策
- ・ 株仲間の積極的な公認 (運上・冥加の増収)
- ・ 印旛沼・手賀沼の干拓

大御所時代

改革を放棄し、50年近くダラダラ過ごした時代・・・

改革は進まなかったけど、文化(化政文化)が栄えたよ!

No.17 世界の気候に関する次のA~Dの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているものはどれか。

A：熱帯雨林気候の地域では、年間を通して降水量が多く、毎日のようにスコールとよばれる激しい雨が降る。

B：サバナ気候の地域では、年間の降水量よりも蒸発量が多く、丈の低い草原が広がり、ラクダや羊の遊牧が行われている。

C：地中海性気候の地域では、降水が冬に集中し、夏に乾燥する。

D：西岸海洋性気候の地域では、偏西風の影響で、一年を通して降水があるが、冬は非常に寒冷である。

1. A、B

2. A、C

3. A、D

4. B、C

5. B、D

【ケッペンの気候区分】

	気候区分	キーワード
A	Af (熱帯雨林気候)	年中高温多雨・スコール ジャングル・セルバ→ (密林)
	Aw (サバナ気候)	短い乾季と雨季にわかれる 長草草原
B	BW (砂漠気候)	年間を通じ降雨がない・蒸発量が降雨量を上回る サボテン
	BS (ステップ気候)	短い雨季と乾季 短草草原 (ステップ)
C	Cs (地中海性気候)	夏乾燥 オリーブ・ぶどう・柑橘類
	Cfb (西岸海洋性気候)	年中降雨あり・夏涼しく、冬暖かい 偏西風の影響

f : 湿潤 w : 冬乾燥 s : 夏乾燥 a : 最暖月 22℃以上 b : 最暖月 22℃以下